

梅北だより

後期学校評価特別号

平成28年3月18日発行
京都市梅津北小学校
校長 嶋田 勤

保護者の皆様には、この1年間、様々な場面でご協力いただき、感謝申し上げます。また、先日は学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回は、前期と比較して考察しました。今後もさらに学校と家庭が連携して本校児童に力をつけていきたいと思っています。

グラフの見方

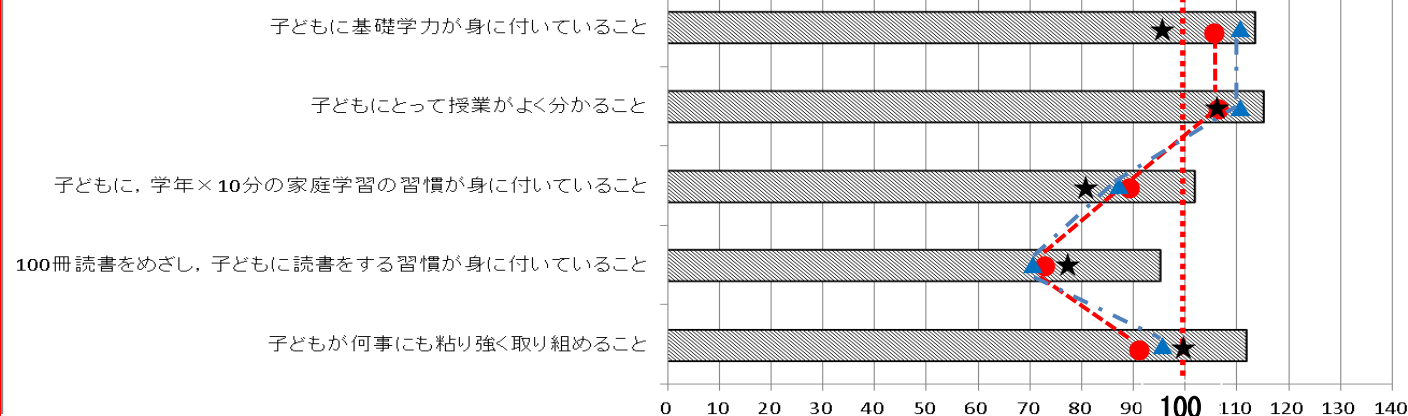
重要度
(保護者アンケートより)

実現度(前期)
(保護者アンケートより)

実現度(後期)
(保護者アンケートより)

★実現度(教職員アンケートより)

確かな学力



学力は上昇傾向です！！

保護者アンケート結果から、後期は前期より全体的に評価が上がっている項目が目立ちます。これは、1年間の学校の教育活動に対して、一定の評価をいただけたものと感謝しています。

運動会や学習発表会、また日常の学校生活において、子ども達が十分力を発揮している姿を見て感じていただけたのではないのでしょうか。

前期学校評価特別号において、「確かな学力」を身に付けることに対して、まだまだ伸びしろが大きく、努力を要することを記載いたしました。家庭学習の習慣を身に付けること、学んだことが身に付くように学校の授業や活動内容を改善することなどについて、できることは何なのかを考え、取り組んできました。

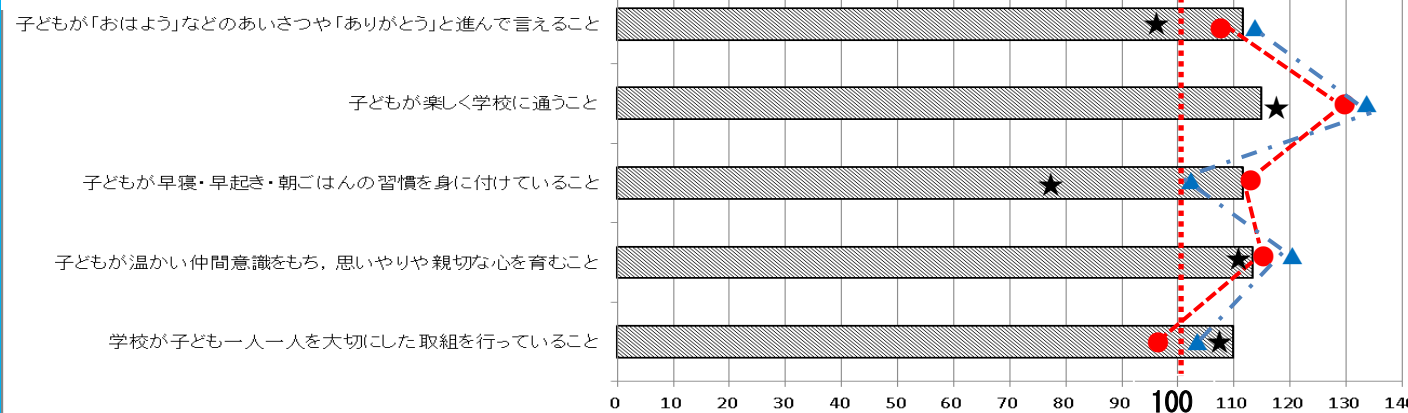
その結果、ジョイントプログラム等の学力調査からは、前期の成績と比べて上昇傾向が見てとれるようになっています。また、保護者アンケートからも、「基礎学力が身に付いていること」「授業がよく分かること」「何事にも粘り強く取り組めること」について、前期より高い評価をいただいています。

しかしながら、すべての児童に学力が十分身に付いているのかといえば、まだまだ課題も多くあります。

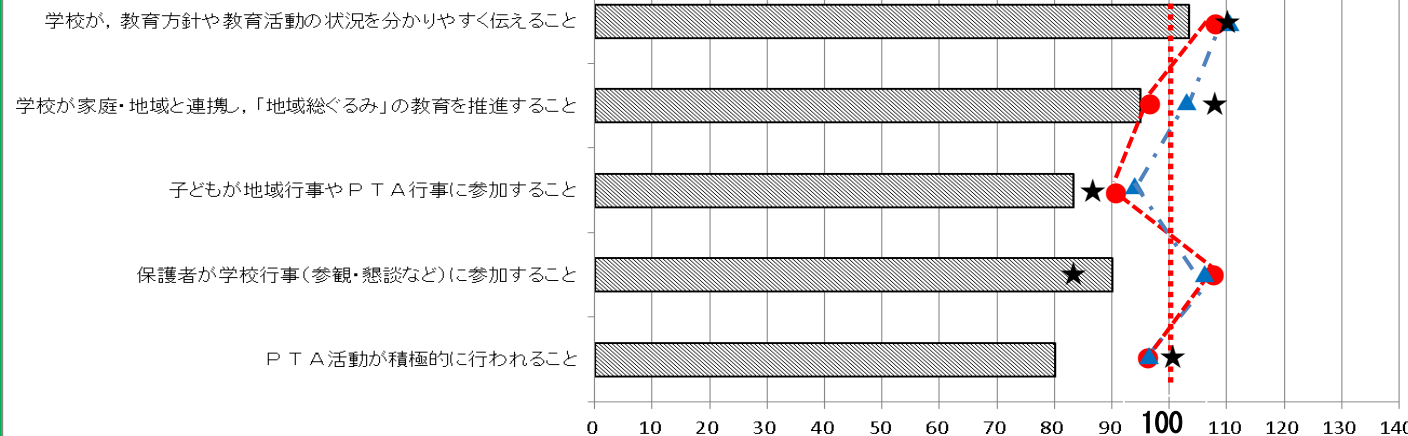
学校の授業での工夫としては、児童一人一人の力に応じて、どの子どもも持っている力が伸びるように、課題の与え方を工夫することや、児童が主体的に学び、確かな理解につながるような授業にしていこうなどについて教職員間で共通理解しました。

ご家庭におかれましても、子どものよいところや頑張りを認めてほめること、しっかりと子どもの話に耳を傾けていただくこと、そして、ご家庭での会話を豊かにして子どもたちが生き生きと過ごせるようにご支援をお願いいたします。

豊かな心・健やかな体

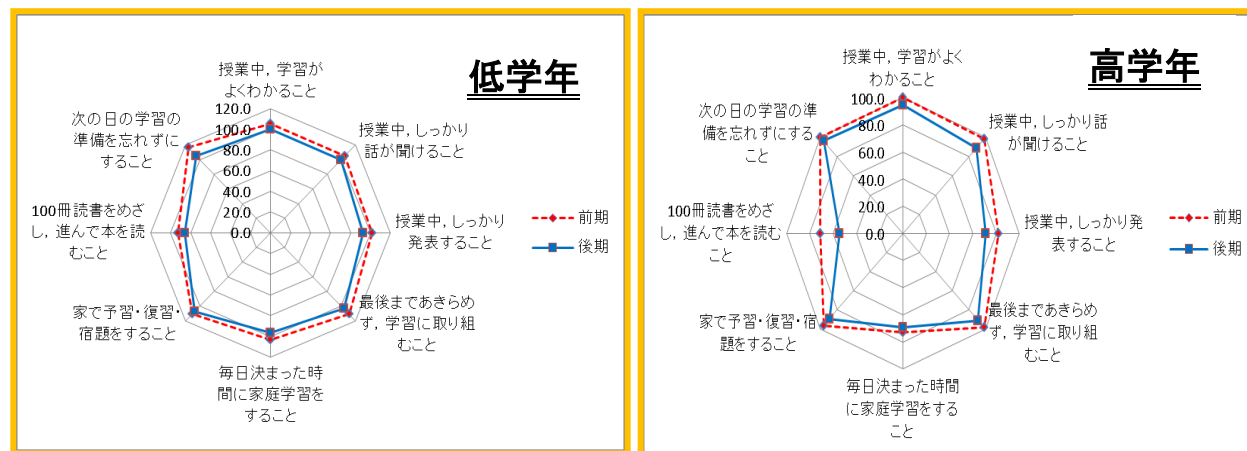


学校・家庭・地域の連携

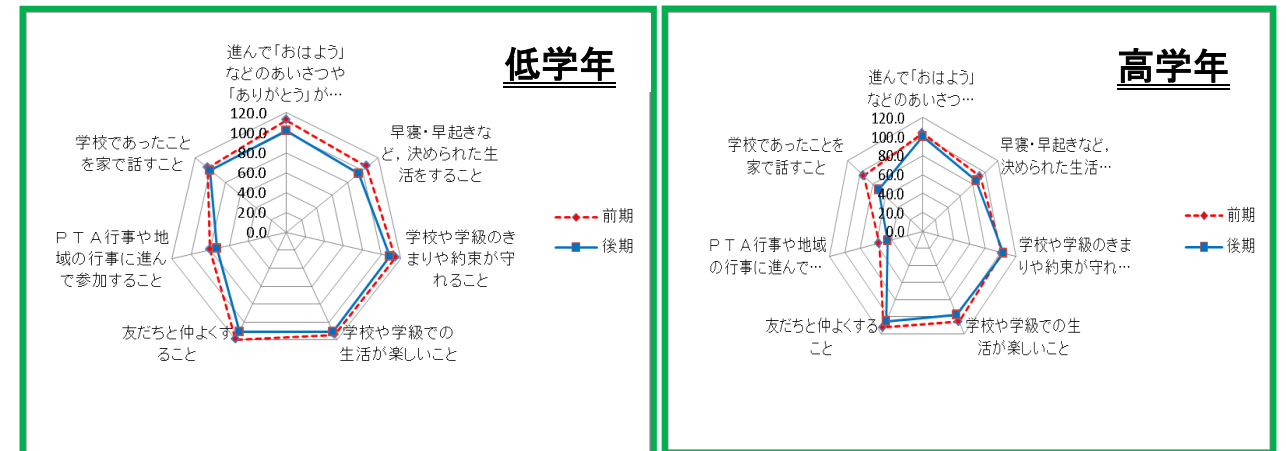


.....児童ふりかえりシートより.....

★学習に関すること



★生活や規律に関すること



読書の習慣をつけるには・・・

児童ふりかえりシートによると、保護者アンケート結果とは異なり、低学年、高学年とも、後期の結果はやや下がっています。特に、低学年でもあまり定着していない読書の習慣が、高学年になると、さらに本離れが顕著になっているのではないかと危惧されます。よい童話は心の栄養です。想像力も豊かになります。言葉が豊かになり、感じる心、考える頭を育てます。

学校では、朝読書、教職員による本の読み聞かせ、調べ物を学校図書館で行うこと、児童による選書会など様々な取組を行いました。学校図書館運営支援員からは図書館講座として学年の子ども達に合った本の紹介、ブックトークをしていただきました。図書ボランティア「ありすのいえ」の方々による読書活動の支援も大変ありがたかったです。今後、学校図書館の利用をさらに促す工夫を考えていくとともに、ご家庭でも、地域の図書館をご家族で訪れてみたり、本を読む環境を作っていただいたりして、子ども達が読書の楽しさを味わえるようにしていきたいと考えています。

◆学校運営協議会理事の皆様のご意見◆

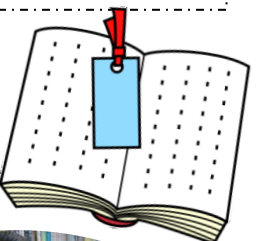
- ・昨今、子どもをめぐる報道が耳や目に入ってきます。子どもが一人で悩みや苦しみを抱えて生きていくにはあまりにも辛すぎます。うれしかったこと、苦しいこと、「何でも話せる家族」であれば、伝えて思いを共有できないものなのかなあと感じます。「とりあえず聞いてみよう、話してみよう」の風土を家庭で、地域で培いたいものです。
- ・すべての子が元気にあいさつできるようになってほしいです。

規則正しい生活習慣にしていきましょう。

保護者アンケートで前期より大きくポイントが下がっているのが、「早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けること」の項目です。表面の教職員アンケート(★)でも、教職員が一番気にかけている項目だということが分かります。

夜遅くまで起きていて、通常の登校時間に間に合わない児童もいます。下校後の時間の使い方はどのようになっているのか気になるところです。パソコンやスマホの使い方についての家庭のルールは守られているのでしょうか。健康な心と体は毎日の生活の積み重ねによって作られます。その中でも食事(特に朝食)のリズムが重要なポイントとなりますが、朝ごはんを食べてこなくて元気が出ず、学習に影響している児童もいます。

また、十分な睡眠は、明るく日の活力につながります。今一度、ご家庭の生活習慣を見直していただきますようお願いいたします。



- ・就寝時間、起床時間を決め、朝食をしっかり摂って規則正しい生活することが健全な子どもを育てることにつながります。
- ・テレビ、パソコン、スマートフォンが今の社会の大きな潮流になっていますが、その中でもきっちりした生活習慣、読書習慣が身に付くように、学校、家庭でのご指導をお願いしたいところです。
- ・読書離れを食い止めるため、家庭でも就寝前に読み聞かせをするとか、テレビを消して親子で同じ空間で読書するなどされてはどうでしょうか。